

## 令和2年度 事業計画

### 1. 地域福祉活動計画に基づく事業の実施

#### (1) 子ども・子育て支援計画

- ①子育ての場をつくる
- ②子育ての場をつくる
- ③子どもたちに福祉の心を育てる＝福祉教育

#### (2) 見守りネットワーク

- ①日常生活の状況把握
- ②見守り管理台帳の整理
- ③支援者としての担い手づくり

#### (3) 生活支援

- ①支援者を育てる～要支援者を支援する側に
- ②3段階支援方式の普及
- ③多世代型居場所づくり
- ④生活支援連動移送サービス・善意の登録活用事業
- ⑤権利擁護事業の普及・拡大

#### (4) 就労支援

- ①指導員の育成
- ②ボランティアの養成

#### (5) 非常時の見守り

- ①異常時の地域での見守り体制づくりの継続と現況の把握
- ②非常時のための日常の見守り情報と支援者リストの整理

### 2. 重点目標

- (1) 地域住民による地域福祉活動となる体制づくり
- (2) 子ども・子育て支援活動を中心とした地域福祉活動への取り組み
- (3) 地域のなかでの多世代の居心地のいい居場所づくり
- (4) 循環型生活支援体制の推進と地域での生活支援体制づくり
- (5) 地域での見守り活動及び支援対象世帯への寄り添った訪問相談支援の推進
- (6) 福祉の担い手づくり

### 3. 主要事業

#### (1) 子ども・子育て支援

- ・子ども食堂
- ・子ども広場～多世代交流・地域交流事業

- ・なかよし広場（障がい児日中一時支援事業）
- ・学童保育
- ・子どもたちの農業体験
- ・子どものお手伝い講座
- ・子どもボランティア活動
- ・冒険遊び場プレーパークさかがわ
- ・経済に寄り添う家計相談

## （２）見守りネットワーク

- ・地域見守り連絡会の開催
- ・見守り管理台帳と住宅地図マッチングシステムの整備
- ・季節の見守りとサロンとの協働事業
- ・地域での簡易家事援助と業者との協働事業の検討
- ・地域密着型サロンの推進
- ・ワンストップ型相談支援体制の確立

## （３）生活支援

- ・自立生活指導の基づく生活支援体制づくり
- ・子育て世帯生活支援体制づくり
- ・多世代が集まれる居場所づくり
- ・移送ボランティア育成
- ・善意の登録活用事業のシステム化
- ・権利擁護事業の活用と生活支援員の育成

## （４）就労支援

- ・地域の中での就労指導員養成
- ・就労支援、社会貢献活動の機会づくり
- ・全世代、全対象の就労及び社会貢献への参加のための体制づくり

## （５）非常時の見守り

- ・異常時の地域での見守り体制の検討
- ・非常時のための日常的な支援者のマッチング

## （６）福祉の担い手づくり

- ・福祉活動実施者への情報提供と研修の実施
- ・福祉活動実施希望者への地域福祉活動の周知と研修の実施
- ・次代を担う子どもたちへの福祉教育の実施と地域福祉活動の実践の場の提供

## （７）ともだち作業所の経営

### ①利用者の日常生活援助

- ・利用者の日常生活への相談対応
- ・利用者の健康管理
- ・利用者に対する社会参加の指導
- ②就労継続支援事業の実施
  - ・利用者に対する日常生活指導と生産活動の指導
  - ・利用者の就労準備指導
  - ・新たなサービスの研究開発
- ③生活介護事業の実施
  - ・利用者に対する生活支援
  - ・利用者の簡易な生産活動と創作的活動の指導
- ④在宅障がい者及び社会生活困難者との協働
  - ・就学、就労、生活に関する相談支援体制
  - ・就労の場の提供

(8) その他

- ①広報紙の発行とホームページによる情報提供
- ②災害ボランティアセンター運営準備と非常時支援体制の確立
- ③災害地域への被災地支援
- ④福祉機器の貸し出し、スポーツ用具の貸し出し
- ⑤公共施設等への福祉機器設置対応
- ⑥移送のための福祉車両貸し出し
- ⑦各種団体への支援
  - ・老人クラブ連合会   ・身体障害者福祉会                   ・手をつなぐ親の会
  - ・ひとり親家庭福祉会   ・ボランティア連絡協議会   ・遺族連合会
  - ・民生委員児童委員協議会互助会                   ・ともだち作業所保護者会
  - ・なかよしクラブ『ホップ・ステップ・ジャンプ』
  - ・介護者の家族の会「すまいる会」
  - ・大きくなあれ   かんか   かんか